


壬生町消防団通信 	纏 ま と い		発行 NO, 18 令和 8年 2月
	記事 江戸時代の防火の 知恵と工夫	特集 冬に備えるべき 防災対策	壬生町役場総務課 消防防災係発行(不定)
			お問い合わせ 81-1808

火の用心の原点と習慣

江戸時代、人口増加と都市化が進み、火災は都市部の大きな脅威でした。

特に江戸は何度も大火に見舞われ、町が焼け落ちることも少なくありませんでした。

そのため、「火の用心」という言葉が生まれ、毎日の生活の中で火災予防を重要視する習慣が根付いていました。



火の用心の原点は、古くから伝わる「火の用心、水の用心」という言い伝えにあります。これは、火災を防ぐためには、火の不始末をしないだけでなく、消火用水を確保することも重要であることを示しています。

また、夜になると町内を巡回する見回り役が「火の用心」と叫びながら歩いたこともこれは、夜間の火気の取り扱いに注意を促すためでした。

江戸幕府は、火の用心の徹底を図るため、以下のような施策を実施しました。

- ・火の用心の呼びかけや、火の用心の標語の掲示。
- ・火災予防の教訓を記した「火消絵本」の配布
- ・火災時の消火活動を担う「火消し」の組織化

さらに、町内には「火の見やぐら」という高い監視塔が設置されていました。これは火の勢いや広がりを早期に察知し、情報を迅速に伝える施設でした。

また、江戸の人々も火の用心を大切にすることを身につけていました。例えば、火の元には水を用意して置いたり、火を使わなくなったらすぐに消したりするなどの習慣がありました。

このような取り組みの結果、火事の発生率は徐々に減少し、住民の安全が守られるようになりました。

江戸時代の火災予防の取り組みは、現代の防火にもつながるものです。火災は一人ひとりの心がけと、行政と住民の連携によって防ぐことができるのです。

火事見舞いの風習と背景

江戸時代、都市部では火災が頻発しており、一度火が広がると多くの家屋が灰になってしまうことも珍しくありませんでした。

江戸時代の都市部の住民は、火災に対する危機意識が非常に高かったため、近隣同士の連携が強化され、火災が発生した際、隣家や町内の人々が助け合って消火活動を行ったり、貴重品や家族を救出するための協力体制が整っていました。そのような中、被災した際には近隣の住民から物資や金銭を受ける「火事場見舞い」という風習が生まれました。

江戸時代の町人たちは、お互いに支え合い、助け合いの精神を大切にしており、深い絆と共同体意識が存在していました。火事場見舞いはその最たる例と言えるでしょう。

火事に遭った家族への見舞いは、ただの物資や金銭の援助だけでなく、精神的な支えとしても機能していました。

資料：ロスゼロより

冬に備えるべき防災対策

電気やガスが止まっても、寒さをしのぐ備えをしよう。

防寒と感染対策を！冬に備えるべき防災対策

冬の災害は、ほかの季節に比べて停電や積雪などによる被害が深刻になります。

自分と家族を守るために、いまできる対策をしておきましょう。

冬に災害が起こると、寒さで命が脅かされることもあります。1995年1月の阪神・淡路大震災や2011年3月の東日本大震災では、地震発生後にライフラインが断たれてしまいました。



東日本大震災では約466万戸が停電し、約80%が復旧するまでに3日かかりました（すべての復旧は約3か月後）。ガス（都市ガス・LPガス）は約200万戸が供給停止し、復旧までの約2か月間にわたり、多くの方が暖房器具を使えず、厳しい寒さにさらされました。

低体温症（深部体温が35度以下になり、体の機能を正常に維持できなくなる）を発症した方も多く、震災関連死の増加に影響を与えたと考えられています。

そのため、冬は食料や飲料水など季節を問わず必要な備えに加えて、防寒対策もしておきましょう。避難所での生活に備えて、感染症対策グッズもすぐに持ち出せるようにしておくとおくと安心です。

★寒さ対策の必需品

◎防寒着



ダウンジャケット、ジャンパー、厚手の長袖・ズボン、厚手の靴下、手袋、マフラー、ニット帽など。避難所などへ移動する際になるべく重ね着して、多くの防寒着を持ち出しましょう。

◎防寒シートや段ボール



アルミ製の防寒シート（エマージェンシーシート）を体に巻き付ければ、体温を逃がさず保温できます。コンパクトなので持ち運びやすく便利です。段ボールは床に敷くと断熱や保温効果があります。

◎寝袋や毛布、カイロ



寝袋や毛布があると冬の寒い日も安心です。カイロは移動時にも使え、首の後ろやお腹、腰に貼れば全身を温められます。有効期限が切れていると異常発熱してしまうので定期的に確認しましょう。

◎ポータブルストーブ



災害発生後に自宅避難を続ける場合、電気やガスが止まっても使用できる暖房器具が必要です。灯油式のストーブを用意しておきましょう。住居環境で使用できない場合はカセットガスストーブを。

プラスの備えで防災力をUP！

◎カセットコンロで温かい食事を



電気やガスが止まってもお湯を沸かしたり調理ができるように、カセットコンロを用意しましょう。温かい食事で心身を温められます。ガスボンベ1本で約60分使用可。大人1人につき1週間で約6本が目安です。多めに備蓄を。

◎車にも防災グッズを用意



地域によっては雪で車が立ち往生することも。車にスコップや牽引ロープを入れておきましょう。防寒具、カイロ、携帯トイレ、長靴、手袋、飲料水や非常食も用意しておくことで安心。ガソリンなどの燃料は早めの給油を心がけて。

◎感染症対策も忘れずに

避難所で避難生活をするための、衛生用品も準備しておきましょう。

【基本の衛生用品リスト】

マスク	体温計	ウエットティッシュ
ハンドソープ	ビニール袋 (大・小)	ゴミ袋
使い捨てエプロン	アルコール消毒液	上履き (スリッパ)

飛沫感染や空気感染を防ぐため、「手洗い」や「咳エチケット」などの基本的な対策を徹底しましょう。

資料：総合警備保障 (アルソック) より

★ 我が町の消防団 ★



分列行進に花を添える園児たち
(メリーランド保育園)



消防団分列行進 (団旗行進)



メリーランド保育園の園児たちの元気なエイサーが披露され、和やかな雰囲気の中、厳正な分列行進が始まりました。



消防団通常点検後、消防団員とのふれあいや放水体験を行いました。

消防団サポート事業（消防団員応援の店）



現在、消防団員応援の店に登録しているお店は 27 件ですが、今後さらに協力店が増えるよう、団員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

また、団員皆様の応援の店のご利用をお願いいたします。

団員皆様が利用することで、地域活性化になりより多くのお店に制度が広がります。

（現在までの登録店） 27 店舗 （R 7. 8 現在）

蕎麦吉本店	居酒屋 まし田	さえぐさ飯店	フォーシーズンズ壬生
らーめん処 鈴乃屋	(有) 愛輪 (整備)	清 華 楼	あいケアステーション
河野辺昼店	田舎菓子処 増田屋	中川正二商店	農家そば処 蕎香
ダンディ・ライアン	時遊館 ナカザト	ほしいも王国戸崎農園	ダイニング ポン太
お茶とお惣菜のパオ	ストロベリーファーム	割烹 山水亭	ときめきステーション
ホルモン屋 壺亭	マミーポットみぶ	(株) 壬生自動車学校	ケンズ バー
(株) フジカンパニー	宮田印房	大衆炉ばた焼 恵風	

各お店のサポート内容は、ホームページをご覧ください。

（登録方法）

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、（安全安心）壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録店の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団応援の店で検索できます。

消防団サポート事業（消防団協力事業所）

消防団協力事業所は、消防団活動に協力していただいている事業所で、地域に対する社会貢献及び社会責任を果たしていると認められ、事業所の協力を通じて地域防災体制が一層充実されることを目的とした制度です。

（現在までの登録事業所） 49事業所 （R7.8現在）

大橋建設（株）	旭化成カラーテック （株） 壬生工場	下野農業協同組合	（有） 篠原造園土木
（株） セーフ	戸崎花園	河野邊畳店	（株） T P A
（株） アーレスティ 栃木	（株） 足利銀行 壬生支店	日産自動車（株） 栃木工場	（株） S U B A R U 航空宇宙カンパニー
（株） 鈴木造園土木	（株） ジョイフル本田 宇都宮店	社会福祉法人 星風会	G K Nドライブライン ジャパン（株）
獨協医科大学	ビー・ブラウンエース クラブ（株）	大垣農園	橋本さく泉（有）
（株） アドジャパン	クレハ合繊（株）	（株） ムトウユニパック 栃木工場	レンタ建機（有）
株式会社 水井	株式会社 まるつね	あいケアステーション 六 美	（有） 角田金型製作所
住化プラスチック 株式会社 栃木工場	有限会社 和光工業	大関工業	株式会社 改伸工業 栃木工場
北関東総合警備保障 株式会社	社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会	株式会社 北 研	吉葉農園
株式会社 アクトリー	社会福祉法人 せせらぎ会	セントラル石油瓦斯 （株） 宇都宮南営業所	有限会社 山川建設
有限会社 町田建設	大淵工業 株式会社	藤工業 有限会社	稲葉建設 株式会社
株式会社 ヤマケ	社会福祉法人 共育会 メリーランド保育園	大藤建設 株式会社	栗原商事
ベリーズベリー KING MOO			

（登録方法）

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、（安全安心）壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録事業所の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団協力事業所で検索できます。

壬生町消防団

団員募集中



私たちと地域の
ヒーローになりませんか



河野邊 副団長
壬生町消防団は、
住民の安全・安心な
生活を守るため活動
しています。



橋本 第1分団長
各分団では、
地域の災害に対し迅速な
出動で、住民の生命・
財産を守るため活動
しています。

壬生町消防団ガンバレ!! 活動を応援しています。



お問い合わせ 壬生町総務部総務課 消防防災係
電話 0282-81-1808(直通)

※詳しくは、壬生町ホームページ、消防団特設ページをご覧ください。



消防団応援の店



消防団協力事業所